

登別市って、白石市って、どんなところ？

～ふるさと豆記者訪問事業～

8月5日(火)、若草小学校で『ふるさと豆記者訪問事業』の交流会が開かれました。

この事業は、登別市と宮城県白石市の小学生が、歴史的にゆかりのある相互のまちの理解や学校間の交流を目的に、平成4年からお互いの町を訪問しているものです。今年も白石市の小学6年生9人と引率者2人が登別市を訪れ、若草小学校の6年生と交流し友好を深めていました。

交流会では、若草小学校を代表して藤丸葵さんが「短い時間ですが楽しく過ごしましょう」とあいさつし、白石市の児童を代表して制野朱里さんが「皆さんと楽しく交流を深めていきたいです」とあいさつしていました。

続いて、自分のまちや小学校について、手作りの資料を使ったり、クイズなどを交えたりしながら紹介。その後、場所を体育館に移し、ドッジボールなどを行いながら、子どもたちは交流を深めていました。



▲まちや学校の紹介



▲記念品交換

自慢のペットに大興奮



～甲虫バトル大会～

7月27日(日)、亀田記念公園多目的広場で『甲虫バトル大会』が行われ、8人の子どもたちが参加しました。

この催しは、自分の育てた自慢のカブトムシやクワガタムシを持ち寄って土俵の上で戦わせる大会で、今年で2回目になります。

ルールは相手を土俵の外に押し出すか、ひっくり返すと勝ち。中には、外国のカブトムシや七色に光る珍しいクワガタムシを持参する子どももいて、自慢のペットを力いっぱい応援していました。

この日の優勝は、京谷優太郎くん(5歳)のミヤマクワガタで、自慢のペットに誇らしげでした。

この日の亀田記念公園では、そのほかにフリーマーケットやバンドライブが行われ、たくさんの人でにぎわっていました。

休憩所としてお立ち寄りください ～月とライオン福祉店舗オープン～

7月18日(金)、中央ショッピングセンター『アーニス』横に、福祉店舗『REST SPOT』がオープンしました。

この店舗は、平成19年4月に開設した障がいのある方の就労継続支援施設『月とライオン』の出張所として、同施設で丹精込めて作った豆腐や豆腐プリンを、車のない方も気軽に購入できるようにという要望に応え、まちの中心部にオープンさせたものです。

営業時間は10時から17時までで、日曜日は基本的に定休日。店内では、ほかの市町村の授産施設で作られた食品や木工、陶芸品なども展示販売されているほか、多くの方に障がいについての理解と認識を深めてもらう啓蒙と情報発信の場として、福祉の本や情報誌、お茶などの無料サービスを提供する休憩所が設けられています。

